



プリオン病治療薬



薬学部 薬学科 教授

石橋 大輔

分野 創薬

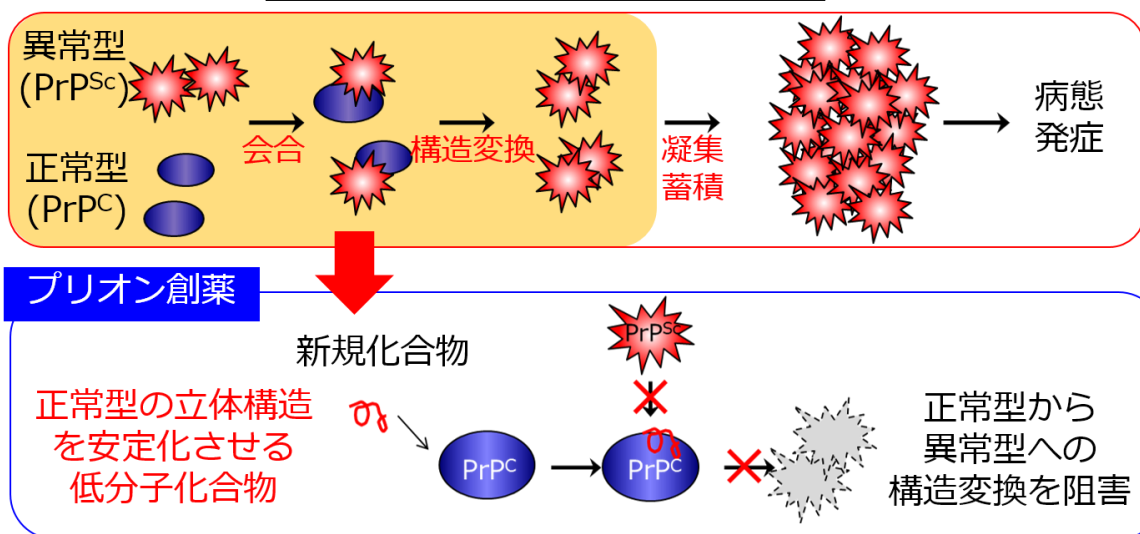
キーワード 創薬、プリオン、神経変性疾患

概要

プリオン病（クロイツフェルト・ヤコブ病）の治療薬を供する。ヒトのクロイツフェルト・ヤコブ病に対して有効な治療はない。また、寿命を延長する薬剤もない。発明者らは、既知化合物を元に多数の新規化合物を創生し、実験にて強い抗プリオン効果を示す化合物を開発した。

これまでプリオン病治療薬の候補として動物モデルで効果が確認された化合物は構造活性相関が特定されておらず、かつ難溶性である。発明者らは新たな治療薬候補として20種類以上の類縁体を合成し、抗プリオン活性を確認した。従来開発された化合物よりもドラッグライクな構造であることから、実用化の可能性が高い。

プリオン病メカニズム



特徴、効果、独創的な点

- バイオアベイラビリティの向上が期待できる構造を有する化合物

適用分野、用途

- 有効な治療法のないプリオン病の治療薬として利用

論文、知的財産情報等

- プリオン病治療薬（特許第7444458号）